

タイピックだより

8月号

2017.7.20 発行 Vol.56

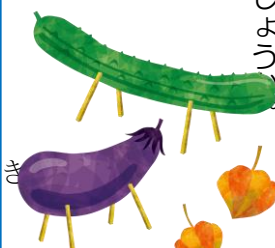


七月下旬から八月は一年で一番暑い時期です。猛暑日が続き、昼の間に上がり上がりになった気温は夜になってもあまり下がらず、寝付けないという人も多いのではないのでしょうか。二ニューズでは熱中症対策が盛んに放送されていますが、自覚症状で気づける人はまさ

熱中症です。対策として水分補給はしたいもの。水分補給というと、のどが渇いてから飲むという人もいると思いますが、その前に補給することが大切なのだそうです。上手に水分補給をして、健康に過ごしたいものですね。

お盆には、家族や親せきが集まって、よもやま話に花が咲く。この「よもやま」は、「四方山」と書き、「四方八方、あちこち」という意味の「四面八面(よもやも)」が変化した言葉だそうです。山の字は当て字だそうですが、旅をすることが困難な時代に、四方の山を越えて訪れる人の話としても貴重なものだったと思います。

今はスマホなどで遠くの家族や親せきなどと日常的に連絡を取れるようになりましたが、家に集まって美味しい料理やお酒などを食べたりしながらお互いに顔を見て話をし、にぎやかなひとときを過ごす楽しさは心を和ませます。そんな和気あいあいとした雰囲気は今も昔も貴重なひとときとなるのではないのでしょうか。



2020年十一億円ビジョン」発表会 7/5



七月五日、サンパルス益田で全社員を対象に「2020年十一億円ビジョン」発表会を開催いたしました。タイピックで働く従業員が、「この会社に勤めていて良かった」と言える会社にした」との岡崎社長の熱い思いから始まった方針発表会。私たち社員ひとりひとりが、生き活きと仕事をし、地域の方々に喜んでいただけるよう、一生懸命努めていきたいと思っております。



2020年十一億円ビジョン」発表会

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

社長の

つぶやき



時間とは不思議なものだ。無限でありながらも、有限である。以前は一日二時間読書をする時間が確保できていたのにと、今更ながら時間の概念について考えさせられるこの頃である。

そんな中、現在読んでいるのは守屋洋氏の著書『人生を豊かにする菜根譚の言葉』（PHP出版）そして、『中国古典の名言・名句三百選』（プレジデント社）の二冊である。

私は本を読む時には、目次を先に読んで内容を読むことが多いが、今回の『菜根譚の言葉』を読むときも先ず、目次に書いてある言葉155行を読んでから内容を読むようにした。



この『菜根譚の言葉』の目次は「人から受けた恩を忘れるな。人に施した恩は忘れたほうがいい」「見返りを要求するようでは、どんな施しも値打ちがなくなる」「功名を求めない。大過なく過ごせることこそが何よりの幸せ」等があり、これらを読み返すだけでも人格の磨き方を紐解いてくれるように感じた。

一方、『中国古典の名言・名句三百選』の目次には言葉はなく、「あかさたなはまやらわ」だけで、著者は同じなのに出版社によって目次の書き方がこうも違うのかと思った。この本の中に「陰徳あれば必ず陽報あり」とあり、その意味は「ひそかに善行を積んでいれば、あとで必ずそれとわかるかたちで陽報を受ける」とあった。

では、誰が陽報を返してくれるのか。最終的には天である。神様といってもよい。天や神様だけは、人間が見逃しがちな些細な善行でもちゃんと見ていてくださって、いつか必ずお返しをしてくれるのだという。と書いてある。この本は名言・名句だけに大変分かり易く読み応えがあるので何度でも読みたくなる一冊である。

本は人生において多くの学びを教えてくれる。既存の価値観が揺

らく現代、どう生きていけば人間の実力を養えるのか、それは古典や歴史に学び、生活に役立てていくことだと私自身感じている。無限であり、また有限な時間の使い方を通していかに多くを成し遂げられるか、社員一人一人の成長と共に自らも学んでいきたい。

話は全くことなるが、七月五日にホテルサンパレス益田で「タイピック未来設計図、二〇二〇年十一億円ビジョン」の発表会を開催した。

初めてとなる会で多少不安もあったが、充実した経営計画の発表になったと感じている。私の方針、各部門長の方針説明を終え、社員には感想文を書いてもらい、二時間半を要したが、毎年改善を重ね四時間程度で終える内容にしていきたい。社員の感想文のなかにも「一人ひとりの意識が変わらないと会社は変わらない。会社は良い方向へ変わらぬので、このような場を時々行い、意識統一することが大切だと思った。この発表会が全員の心に響いていたら、きっと会社は良い方向へ変わっていくと思うし、私自身は自分を変えていこうと感じることができた」などの感想がよせられた。

わが社の ほっとニュース



ドリンクサービス大好評！

タイピックの玄関フロアには自販機と給茶機が設置してあります。自販機のお茶やジュースは全て百円。そして、給茶機は珈琲、お茶、レモン水などのホットとアイスをいつでも無料で飲んでいただけます。

いつでも水分補給ができるウォーターサーバーと、この自販機と給茶機は、従業員はもちろん、パソコン教室や職業訓練の生徒さんにも大好評です。



社内木鶏会 致知の感想



徳を高める生き方

宇治教室 中山 貴志

十一年間山に籠もる。仏様の姿が見えるまで繰り返される合掌と五体投地。常識的に考えると、それが何の意味があるのか？と思える事も成し遂げた者には、感じ、見えてくる事もあるという事だろう。つまり、する「か」しない「か」で雲泥の差がある。



やはりには、再誕のお話にもあった自らの判断と決意での行動でなければ意味がないようにも思います。最近教室でやってみたい事がどんどん出てきて、それこそ四年前のオープン時のときから思い描いていた事も、まずはやってみよう！という思いでやってみる事にしました。その先に何があからずかではなく、やりたいと思ったからやる。結果、今まで見えなかったもの、感じなかったものに触れられればと感じます。

特集 師弟弟子

〇事業部 寺戸 雄次

渡部昇一先生の記事を讀ませて頂いて、渡部先生の言葉が気に入りまし



した。又は心底尊敬した人物から知らず知らずのうちに多くのものを学ぶ。とあります。たくさんの人と関わる中で、先月山にありましたように

美点凝視でその人の良い所を見つけて、それが尊敬に変わっていくければ自身の成長につながると思いますので、やはり、美点凝視を大切に人と関わっていくと思えました。

また、この特集の中で渡部先生が他界される前も人前では体調の悪さを感じさせず、いつも元気にユーモアに活動されていたと書いてあります。自分自身が病にかかった時、果たして同じように振舞えるかと言われたら自信はないですが、渡部先生のように振舞える人間力をつけていきたいです。

徳を高める生き方

システム科 井上良輔



堀澤師と宮本師は徳を積むことに人生を懸けてみたいという

思いで仏教に身を置かれた方々であり、何かひとつのことを集中して行うことはとても強い意識が必要であると感じました。さらにその環境に居続けられる縁も必要であると言われています。そういう意味では、私がタイピックに入社したことや、取引先のお客様、パソコン教室や職業訓練の生徒さんと関われることになったことは、大きな縁であったと感じます。関係のある方々がすべて師であり、常に何かを教えていただける方々です。また、ひとつのことを行うにしても、全身全霊を込めて、長い期間行うことで、やっとなり、ステップアップが成長すると言われています。その一歩分の違いを積み重ねていくことで、仕事だけでなく、生きる

ということに対して納得できる答えをつかむことができるのだと思います。

宗教を信じるという事はまだまだ理解できないですが、日々生きていく中で家族や職場といった身近な方々にお世話になつていくという事で、やはり、自分が生きていくという事に感謝して、いつか改めて思いました。

我ら菓子つくりの道を極めん

経理部 大庭幸絵



比屋根さんと牧野さんの対談を讀んで思ったこと

は、良い弟子、成功する弟子とは、師の技だけでなく、心を受け継ぐ人なのだという事です。お一人は素直さがないうと伸びないとおっしゃられています。師の「うん」まで「だわ」る厳しい目でも素直な心を持つことで、受け入れられ自分に馴染ませることが出来ると思えました。牧野さんは、ベルギーに研修に行った際、一回のすべてを持って帰って来いと言われて、レシビだけでなく、いろいろな物の寸法を測ってまとめたあたりとありました。牧野さんのように「みんな事でも」と自分勝手に切り捨てないことが大事だと思えました。

「善言を呈する人を避けてはいけません」とありますが、なかなか、その時にありがたいと思えない時には、思えないのですが、その時が無理なら、その後でも、日が経つてからでも思えるように意識を働かせるように思いました。

誕生日の決意

〇事業部 営業

大谷 宏明



40歳をむかえるにあたり、これまでの人生、そしてこれからの人生を深く考えてみました。

色々な苦労や経験をさせて頂いた事を、当時は何故僕だけが思っておりませんが、これも運命だと思えるようになりました。私事ですが長男も12歳になり、振り返ってみますと色々楽しい事や辛い事も一緒に経験したりしながら、本当に成長したと思います。小学校2年生から始めたサッカーも、もう今年で5年目を迎えました。色々な試合には付いて行き、その中で色々な人との出会いを頂いた事に今では本当に感謝しております。サッカーの試合では思うようにプレイできず試合にも負けて泣いている姿を見ては、この経験がきつというか自分自身の役に立つと思いが、一緒に過してまいりました。この経験を通して、私自身も変わらないといけないと思えるようになってきました。これからの人生は人間として大きく成長し、皆様の為に役に立つような人になれるように学び続けたいと思えます。三男も来年には小学生になります。次男は小学校最後の年になりますので、よき父親になれるようにしっかりと家族とも向き合って生活を送りたいと思います。昨年入会した、益田商工会議所青年部では学ぶ事も多く頂いておりますので、これからも積極的に参加していきたいと思っております。

ゆっくりやさしいパソコン教室

バーベキューで

おなかいっぱい幸せいっぱい

益田教室 清水 壮一

先月のバス遠足に引き続き、毎年恒例のバーベキュー大会「夏の味覚を楽しむ会」を、7月10日(月)にサンパレス益田のバーベキュー場で開催。総勢40名でにぎやかなひとときを過ごしました。

バーベキューといえばメニューですが、今年も豪華メニューがドーンと勢ぞろい！イカの刺身、イカ焼き、イカのキュウリなます、サザエの壺焼き、ウナギ、しし肉の焼肉、鶏もも焼き、おにぎり、焼き野菜、赤カブの酢漬けやラッキョウ漬け



等々・・・

デザートに、生徒さん手作りのところてん、手作りのサータアンダギー、かき氷と盛りだくさんでした。イカとサザエ、しし肉は生徒さんが提供してくださいました。

レクレーションは、空くじなしのくじ引きとスイカ割り。くじ引きでは手編みのカゴをもらったラッキーな人もいれば、私(清水)のプロマイドが当たったアンラッキー？な人もあり、ドキドキでした。

酔っ払いも参加したスイカ割りは、誰も当たらず、唯一当てた方も力が足らず割ることはできませんでしたが、その場でスイカと差し入れのメロンを切って、美味しくいただ

きました。

蟠竜湖を目の前に臨むステキなロケーションのバーベキュー場は、蟠竜湖からの気持ちの良い風が吹いてきました。おからの高い気温で熱中症が心配されましたが、無事に楽しく終了できました。

普段の生活では大勢でにぎやかに盛り上がるということがなかなかないので、みなさん毎年このバーベキューを楽しみにされています。お互い協力してイベントを作っていく醍醐味もこのイベントの魅力です。日常に刺激がほしい方、パソコン教室に入っ



パソコン教室に行けば、日常の生活ではできない体験をすることができ、これからの人生の楽しみが増えること間違いありません。毎日たくさん仲間と会話をし、たくさん笑って人生を豊かにしませんか？

ぜひ一度教室に足を運んでみてください。皆様のご入会を心よりお待ちしております。



ゆっくり やさしい
パソコン教室



Typic

同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします